

# 安曇野市 重大ニュース 2022



## フィットネスバイク 教室を開講

自転車活用推進計画における介護予防の取り組みとして、松本大学の健康運動指導士の協力の下、フィットネスバイク教室を開講しました。

運動能力や健康状況に合わせ、効果的な介護予防を推進しました。



福祉部 高齢者介護課

## 特定健診(集団健診) を休日に実施

「平日は就業しているため健診を受ける時間がない」という人にも特定健診を受診しやすくするため、集団健診を土・日曜日も実施しました。



保健医療部 国保年金課

## 母子手帳アプリの 運用開始

10月から母子手帳アプリ「あづみっこ すくすくナビ」を利用した子育て支援を開始しました。市からは母子保健や子育て支援に関する情報をタイムリーにお知らせし、成長の記録にも活用できます。



保健医療部 健康推進課

## 小児インフルエンザ 予防接種への助成

インフルエンザの重症化予防と子育て世代の経済的支援を図るため、生後6か月から満12歳を対象に、4月からインフルエンザ予防接種費用の一部助成を開始しました。

(1回につき1,000円を2回)



保健医療部 健康推進課

## 新生児スクリーニン グ検査費用の助成

疾患の早期発見・治療のため、10月から県が実施する任意のオプション新生児スクリーニング検査(原発性免疫不全症・脊髄性筋萎縮症)の検査費用の助成を開始しました。費用の助成は、長野県内では初になります。



保健医療部 健康推進課

## 児童医療費の給付対象 15⇒18歳に拡大

子育て世帯の医療費負担を軽減し、早期の適切な受診を促進するため、児童医療費の給付対象年齢を、15歳に到達する年の年度末から、18歳に到達する年の年度末まで拡大しました。



福祉部 福祉課

## あづみの自然保育 「園庭ミニ田んぼ」を整備

市の自然環境や地域資源を生かした「あづみの自然保育」の取組として、有明あおぞら認定こども園の園庭に田んぼを整備しました。他の5つの園でもタイを利用した米作りを行い、楽しみながら学が経験となりました。



教育部 こども園幼稚園課

## 新穂高北部児童館 が完成

老朽化した穂高北部児童館を建て直し、4月、新児童館の利用が開始しました。

児童館の機能の拡充や、乳幼児の受入れ環境が整うとともに、児童クラブは6年生までの受け入れが可能になりました。



教育部 子ども家庭支援課

## 三郷西部認定 こども園 建設開始

市内の三郷・堀金地域で伐採した安曇野産の木材(桧・唐松など)を利用した木造の建物です。

屋根には、太陽光による集熱パネルを利用した空調設備による暖房、冷房の補助を行い、省エネ化を図ります。



総務部 財産管理課



## 「安曇野市×あずさマルシェ」の開催

9月28日から30日の3日間、採れたての農産物を特急あずさ号でJR新宿駅に運び、同駅内で販売しました。

3日間とも大盛況で、首都圏在住の方に、市の農産物の魅力をPRすることができました



農林部 農政課

## 安曇野フルコースを考案

安曇野の魅力ある農畜水産物(わさび・米・りんご・肉・信州サーモンなど)を食材とした「オール安曇野産」のフルコースメニューを、「和食」と「フレンチ」で考案し、地場産品の魅力を内外に発信しました。



農林部 農政課

## 企業と連携した森林づくり

森林保全を推進するため、ゴールドパック(株)、エア・ウォーター(株)と、森林づくり協定を新たに締結しました。

今後も、企業と連携した森林づくりを積極的に進めていきます。



農林部 耕地林務課

## 烏川地区ほ場整備 完了

堀金烏川地区のほ場整備について、令和4年に換地処分登記が完了しました。

平成21年度に事業採択を受けて以来、14年という長い歳月を経て進めてきた烏川地区のほ場整備事業が完了しました。



農林部 耕地林務課

## コロナ対策経済支援を実施

コロナ禍での経済の下支え策として、安曇野市ささえあいプレミアム商品券事業(2回)、事業復活支援金上乗せ事業、燃料費高騰対策事業を実施しました。

コロナ第6波～7波によって打撃を受けた市内経済の活性化を図りました。



商工観光スポーツ部 商工労政課

## 観光復興元年 観光イベントが復活

4月の穂高神社ご遷宮タイアップイベント「あづみ野でらす」開催を皮切りに「安曇野花火」の再開、「安曇野神竹灯」の期間拡大など、アフターコロナを見据えて、年間を通じた観光イベントを開催し、誘客につなげました。



商工観光スポーツ部 観光課

## (株)モンベルと連携協定を締結

安曇野市とアウトドアメーカーである株式会社モンベルは、アウトドア活動などの促進を通じて、地域の活性化や防災意識・災害対応力の向上、市民生活の質の向上を図るため、包括連携協定を締結しました。



商工観光スポーツ部 観光課

## ハーフマラソン 3年ぶりに開催

6月5日、第8回信州安曇野ハーフマラソンが行われました。県内外からハーフの部5,117人、ファミリーの部294組642人計5,759人が出走し、雄大な北アルプスをバックに、深緑の安曇野を駆け抜けました。



商工観光スポーツ部 スポーツ推進課

## ANCアリーナがグランドオープン

1月から利用を開始し、大規模イベントの開催やスポーツに親しむ場として、多くの方々に利用していただいています。

引き続き、「利用しやすい」「親しみのある」施設として運営していきます。



商工観光スポーツ部 スポーツ推進課

## マウンテンバイク コースがオープン

アトランタ五輪マウンテンバイク日本代表の小林可奈子さん監修のもと、市とボランティアが共同でMTBコースの整備を行い、4月にオープンしました。アウトドアスポーツの拠点として、観光振興や教育、健康増進への寄与を目指します。



商工観光スポーツ部 スポーツ推進課

## 「安曇野」ナンバー 導入へ始動

安曇野市、生坂村、池田町、松川村の4市町村が協力し、「安曇野」ナンバーの導入に向けて動き出しました。

令和7年の導入へ向けて、ナンバープレートデザインの検討などを進めています。

● 安曇野000 ●  
お 00-00

政策部 政策経営課

## 小説『安曇野』を 大河ドラマに！

小説『安曇野』を原作としたNHK大河ドラマ化に向けた取り組みを始めました。

その第1弾として、小説にゆかりのある皆さんと太田寛市長との懇談会を東京都内と市内で計2回開催しました。



政策部 政策経営課

## 配慮が必要な方の 避難先を確保

災害発生時等で配慮が必要な方が災害時に「ためらわず」「安心」して避難できるよう、市内宿泊事業者(6社)が所有する宿泊施設(150室)を避難所として提供していただく協定を結びました。



危機管理課

## 指定避難所開設 訓練を実施

10月に指定避難所の運営方法などについて訓練を行いました。訓練には自主防災組織の役員等関係者約60人が参加し、ダンボールベッドの設置方法や、避難所の運営などを訓練しました。



危機管理課

## 県消防ポンプ操法大会 ポンプ車の部準優勝

7月に松本市で開催された第64回長野県消防ポンプ操法大会ポンプ車操法の部で、第11分団(穂高有明)が出場し、準優勝しました。

また、個人賞を1番員、2番員が受賞しました。



危機管理課

## 災害ボランティア センター協定を締結

市と市社会福祉協議会は、災害ボランティアセンターの設置や運営などに関する協定を締結しました。

これにより、災害時の迅速な設置や被災者の生活再建を支援する態勢が整いました。

災害ボランティアセンターの  
設置及び運営等に関する協定 調印式



福祉部 障がい者支援課

## 明科地域の 内水氾らん対策

排水ポンプ車1台と可搬式排水ポンプ4基を購入しました。

明科地域の建設業者の方々からご協力をいただき、内水氾らん被害の軽減に努めています。



都市建設部 維持管理課

## 4年ぶり 安曇野環境フェア

10月8日、9日に穂高会館で、4年ぶりとなる安曇野環境フェアが開催されました。環境に関する活動を行っている団体や企業などが出展し、2日間で約1,400人の方々に参加いただきました。



市民生活部 環境課



### 篠原信一さん 「あづみの移住大使」に

5月19日に、安曇野を一望できる長峰山で委嘱式を行いました。移住推進のため、プロモーション動画や移住セミナーへの参加など活躍していただき、移住定住推進課とともに市の魅力を発信していきます。



市民生活部 移住定住推進課

### 3年ぶりに復活 明科あやめまつり

近年、あやめ公園のハナショウブは花の勢いが衰えていました。そこで、地元有志の「あやめ保存会」が尽力し、約3万株のハナショウブが見事に復活！6月のあやめまつりでは、約1万人の来場者でにぎわいました。



市民生活部 地域づくり課

### 豊科南部総合公園 噴水リニューアル

老朽化した噴水施設を子供達をはじめ、多くの市民が見て・触れて・楽しめる施設に改修しました。子供達が安全に安心して水遊びすることができ、気軽に水に親しめる場所となりました。



都市建設部 都市計画課

### 市営住宅 穂高団地 の改修 始まる

建設後50年以上経過して劣化が著しい市営住宅穂高団地のリノベーションが始まりました。建て替えではなく、全面改修にすることで、住宅機能の向上を図りつつ家賃の上昇を抑えることができます。



都市建設部 建築住宅課

### デマンド交通 「あづみん」リニューアル

11月から、デマンド交通「あづみん」のリニューアルを行いました。送迎時間の見える化やスマホアプリからの予約が可能になり、今まで以上に便利になりました。



政策部 政策経営課

### 松糸道路「安曇野 道路」が事業化

県が事業主体の松糸道路の市内新設区間である「安曇野道路」が新規事業化となりました。交通ネットワークの形成や産業・観光振興などによる地域活性化が期待されます。



都市建設部 建設整備課

### 安曇野の 水道水をPR

明科駅前に市内3機目となる屋外型給水機を設置しました。駅前整備完了後に使用開始となります。市内の給水スポットマップを作成しましたので、外出時の給水にご活用ください。(使用期間は3月下旬～11月末頃)



上下水道部 経営管理課

### 主要な水道管路の 耐震化

拠点配水池や災害時の避難所、病院、市役所などを結ぶ水道管を主要管路と位置づけ、耐震管の布設工事を実施しています。令和4年は、穂高地域(上原)と三郷地域(上長尾)を中心に耐震化を進めました。



上下水道部 上水道課

### 中学生議会を開催

安曇野市中学生議会を11月に開催しました。参加した中学2～3年生の11名の生徒は、事前に市の課題や取組について学習を重ね、傍聴者など60人近くが見守る中、市政への質問、提言をしました。



教育部 学校教育課

## 日展 安曇野展 開催

4月23日～5月15日まで、豊科近代美術館で日展安曇野展が開催されました。

期間中には、13,349人の様々な世代の方々が県内外から安曇野を訪れ、国内最高峰の芸術を堪能しました。



教育部 文化課

## アーティスト・イン・ レジデンスを開始

作家が市内に滞在しながら創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス(AIR)を、東京藝大と連携して開始しました。

東京藝大出身の鑄金作家・柴田早穂さんが滞在制作を行い、10月に展覧会を開催しました。



教育部 文化課

## 新たな市政懇談会 「ゆたかの飛耳長目」

市民グループや活動団体を対象に、まちづくりや市政課題などについて市長と意見交換を行う対話型の市政懇談会を始めました。

今年は、「シェアハウス活用の可能性」などをテーマに全10回を開催しました。



政策部 秘書広報課

## ウクライナ駐日大使 が来訪

7月にウクライナのセルギー・コルスンスキー駐日大使が市役所を訪れ、ウクライナの状況や平和への願いについて懇談しました。

太田市長は、ウクライナへの支援の重要性を語り、ウクライナへの連帯を表明しました。



総務部 総務課

## 平和都市宣言 10周年

平成24年の「安曇野市平和都市宣言」制定から10周年を迎え、平和の大切さを再確認する機会となることを願い、「被爆ピアノ」を用いて平和活動を展開する矢川光則さんらを迎えて記念事業を実施しました。



総務部 総務課

## 広島平和記念式典 3年ぶりに参加

8月5日・6日、市内の中学生13人が3年ぶりに広島平和記念式典に参加しました。

参加した生徒からの感想を文集にまとめ発表しました。



総務部 総務課

## 多様性を尊重し合う 共生社会へ

固定的な性別役割意識や国籍・民族の違いにとらわれず、それぞれが自らの意思で生き方を選択でき、相互に尊厳と生き方を認め合える社会を目指すため、4月に「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」を施行しました。



政策部 人権共生課

## 明科地域が 過疎地域に指定

明科地域は4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」における一部過疎地域の指定を受けました。

これを受け、国の財政支援などを活用して地域の持続的発展を図るため、「過疎地域持続的発展計画」の策定を進めました。



政策部 政策経営課

## 安曇野市議会 政策提言書を提出

「エネルギーの地産地消の推進」、「不登校支援の充実」、「松本系魚川連絡道路建設に伴う経済活性化」の3項目について、10月27日に市議会から市長へ提言書を提出しました。



議会事務局





安曇野

令和4年12月22日  
安曇野市長 定例記者会見 資料